



千代田日記

～ちよだにっき～

今月のごあいさつ

ゴールドリンクの「金工芸品」

この度、金工芸品を販売することになりました。

金工芸品の中でも、仏具は、日常礼拝しているものとして相続税がかからない財産であると認められています。

(平成二十六年現在国税庁法令等)



おりんは、ご先祖様を大切にしている思いをみごとに黄金色と響き渡る美しく長い音色で表現しております。金工芸家、秀光作です。

今年は、相続税が課税強化された年であり非課税財産である仏鈴、仏像をお買い求める動きが広がっております。

ゴールドリンクの黄金の工芸品はみなさまに安らぎとほほえみをお届けいたします。

ただし、高額で何個も購入されることは、課税対象になるかもしれませんのでご注意ください。



ご存知ですか？



卒業入学式に演奏されるクラシックと言えばエルガー作曲の威風堂々。英国第二の国歌とも言われ、米エール大学から始まり米国の大学では卒業生入場の定番となっております。

楽器店の息子として生まれたエルガーは、10歳で作曲を始めますが、経済的余裕はなく、楽器の演奏も作曲も独学。地方都市で音楽の家庭教師をしながら地道に作曲活動を続けました。結婚を機にロンドンに移住、作曲家としてのデビューを試みるも果たせず、失意の帰郷。ところが、あきらめない男エルガーは、妻アリスの献身も手伝い(天才の面倒を見る事は、女性にとって生涯を全うするに足る仕事、と書いている!)、作曲を続ける。そして遂に1899年に変奏曲『謎』で名声を得ると、2年後44歳『威風堂々』は異例のアンコール2回と言う熱狂的支持を得て英国の国民的作曲家として今日も世界中で愛されています。

そんなあきらめない男・エルガーの音楽は、まさに人生の門出にふさわしい、人生の応援歌に聞こえてきます。

算

お花見ならではの食べ物

百花繚乱の春到来ですが、

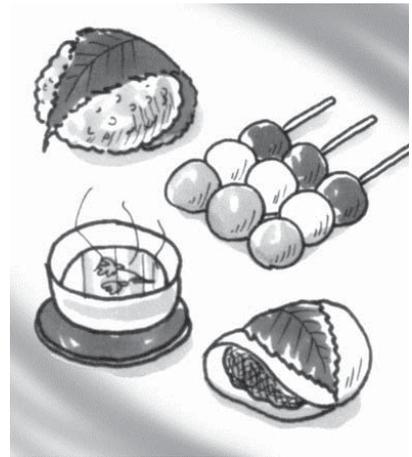
暮らしの足し

中でも「桜」は、日本人にとって特別な存在。桜前線の北上に伴って、全国各地でお花見が賑やかに行われます。お花見は年に一度の楽しいイベントですが、「花より団子」という方なら、この時にしか味わえないグルメもチェックしておきたいところ。ただ食べるだけでなく、その由来や意味を知れば、花も団子も、より味わい深くなりそうです。

まず、最も一般的な「花見団子」。

白・桜色・緑の三色の串だんごは、古くよりお花見のお供として親しまれてきました。雪を思わせる白で冬の名残りを、桜色で春のよさこいびぎ、よもぎの緑で夏のきんぎょを表現しているのだそうです。

また、桜色の餅を桜の葉の塩漬けで包んだ「桜餅」は、関東と関西で、



違いがあるようです。関東風は小麦粉で作った生地を焼き、あんこを巻いたクレープ風。関西風はもち米でできた道明寺粉の餅であんこを包んだおまんじゅうになっています。

「桜湯」は、愛らしくて優しい飲み物です。八重桜を塩漬けた桜にお湯を注ぐと、うすピンク色の花が開いてほんのりと香り立つ桜湯ができあがります。物事の開花を表すとされ、おめでたい場にふさわしい飲み物として一般的ですね。「桜茶」ではない理由は、あまり良い用途ではないことわざ「お茶を濁す」(その場しのぎで話をそらすこと)に通じるから……とされています。

「そのうち」なんて当てにならないな。
いまがその時さ。

スナフキン

スナフキンは、フィンランドの作家、トウエ・ヤンソン原作の「ムーミン」シリーズに登場するキャラクターです。「ムーミン」は、日本ではテレビアニメ化されたことで有名になり、高い人気を獲得しました。

時から注目されていましたが、ネット上で彼の言葉が「名言」として支持されるなど、アニメを知らない現代の若い層にも浸透しています。

じ

スナフキンは、主人公・ムーミンの親友であり、ハーモニカとリュックを持って世界を旅する放浪者です。初めて出会う人や身の回りで起こる出来事に対し、好奇心と暖かい心をもって接します。哲学的思考を好みながらも、気楽でのんびり屋。ムーミン谷にふらつとやってくるのはまたどこかへ去って行ってしまいましたが、みんなの憧れの存在でもあるのです。視聴者からも「謎めいた人物」としてアニメ放映当

「ムーミン」という作品はもともと子ども向けですが、不条理な展開の話があったり、スナフキン以外にも哲学的・詩的な発言をする登場人物が多かったりと、非常に深く難しい世界観の作品……という声もあります。どこか癒やされる、静かな時間を運んでくれる不思議な物語であることは確かでしょう。

あらためて見直すと、興味深いかもしれませんね。

なごみひとさじ

スナフキンは、フィンランドの作家、トウエ・ヤンソン原作の「ムーミン」シリーズに登場するキャラクターです。「ムーミン」は、日本ではテレビアニメ化されたことで有名になり、高い人気を獲得しました。





歴史上の出来事や人物を描いたマンガ

こうした背景から、流行しているマンガの傾向は、若い人たちの教育・成長への悪影響が背中合わせの問題として議論されてきました。

一方で、教材として有効な作品も少なくありません。中でも、歴史上の人物や出来事を描いた作品は昔から人気が高く、子どもが歴史に興味を持つきっかけになる場合も少なくないようです。

いくつか例を挙げてみましょう。

- ★「三国志」／横山光輝。中国の三国時代(二二〇〜二八〇年)のうち、後漢の滅亡から魏・蜀・呉の三国の興亡までを題材にしています。
- ★「あさきゆめみし」／大和和紀。平安時代中期に書かれた紫式部「源氏物語」をマンガで再現。光源氏を主人公に平安貴族や宮中の様子が描かれています。

★「バガボンド」／井上雄彦。剣豪・宮本武蔵を主人公とした吉川英治

の小説「宮本武蔵」のマンガ化で、剣の時代の終わり〜戦国末期から江戸時代の転換期が描かれます。

★「ベルサイユのばら」／池田理代子。フランス革命(一七八九年)が描かれ、「ベルばらブーム」を起しました。今も高い人気があります。

★「はだしのゲン」／中沢啓治。一九四五年八月六日の広島原爆投下を題材にしたもので、戦中戦後を必死に生き抜く少年・ゲンの姿が描かれています。

この他にも、過去に発表された「アドルフに告ぐ／手塚治虫」(第二次世界大戦)や「日出処の天子／山岸涼子」(聖徳太子)、近年ヒット作となっている「キングダム／原泰久」(中国の春秋戦国時代)「ヒストリエ／岩明均」(紀元前四世紀の古代オリエント)といった作品の評価が高く、多くの若者に注目・支持されています。



マンガと一口に言っても、前記のような学習意欲につながる期待の持てるもの・情緒教育として有効なものから、多感な子どもには見せるべきではない刺激的で悪趣味なものまで、多種多様存在します。

その選択には、当然、状況に応じた適切な判断がなされるべきでしょう。一方で、日本が世界に誇れるだけの大切な大衆文化なので、から、軒並み否定するのではなく、上手に活用を……豊かな心を育てるためには、それも一つの知恵と言えるかもしれません。

心得の教科書

「わかりました」の伝え方

「わかりました」という意味で使われる言葉「了解しました」「承知しました」「了解しました」「かしこまりました」などがあります。

まず、よく使われる「了解しました」ですが、これは、同僚もしくは目下に対して使う言葉。尊敬語ではないため、お客様や目上に対して使うのは失礼にあたります。

これに対し、「承知しました」は尊敬語になりますので、お客様や目上の人に対して使うのに適切です。「かしこまりました」も同様。この二つは、ビジネスシーンでも使う頻度が大変高いため、覚えておきましょう。

「了解しました」は、何かを承諾したときに使いますが、「それではどうもよいでしょう」という

意味ですから、目

上が目下に使うのが正解です。お客様や目上の人に使ってはけません。お客様へは「承(うけたまわ)りました」、目上の人へは、「承知しました」が正しい選択です。

敬語は、特にビジネスマナーを学び始める新社会人にとって、最初に覚えるべき心得と言えます。けれども敬語はとても難しいものですから、多くの人が普段から意識することが大切です。上手に使い分けましょう。



★「ことわざ」を完成させて★

次の①～⑤の文中の★に 正しい言葉をいれて、ことわざを完成してみましょう。

- ①焼け★に水 ②魚心あれば★心
- ③怪我の★★ ④蓼食う虫も★★★★★
- ⑤転ばぬ先の★

【正解】

- ①「焼け石に水」
わずかな事ではまったく効果がないこと
- ②「魚心あれば水心」
相手の態度でこちらの態度も決まること
- ③「怪我の功名」
失敗が意外によい結果になること
- ④「蓼食う虫も好きずき」
人の好みは様々であること
- ⑤「転ばぬ先の杖」
予め十分な準備をしておくこと